

失敗事例No.(2)－8

【失敗事例】

事例項目	資料作成時におけるデータの収集・分析について <懇話会への基礎資料のデータが適切ではない資料の提出>
事例発生日等	平成18(2006)年10月
担当課	福祉推進部 保育課
事例概要	発生までの経過 ①保育園民営化推進担当(当時)は、「門真市立保育所のあり方懇話会」(平成18(2006)年7月18日から10月24日まで計4回開催)に、基礎資料の1つとして「市立保育所の保育士の年齢構成等」を提供した。 ②同懇話会が同資料をもとに「市立保育所の保育士の平均年齢の高さが、将来的に組織としての機能と役割に支障をきたす懸念があり、また私立保育所と比較した人件費の割合の高さの一因である」等と指摘する報告書を作成し、平成18(2006)年10月26日、市に提出された。 ③後日、議員から「同懇話会に提供した資料は、正職員のみ年齢構成を示したものであるため、アルバイト職員等も含めた市立保育所の保育士年齢構成の資料を提供してほしい」と求められた。 ④資料を作成し提供したところ、議員から「アルバイト職員等を含めた場合、バランスの良い年齢構成となっており、同懇話会に提供した資料は不適切である」等の指摘を受けた。 ⑤平成18(2006)年第4回定例会(12月)において、「同懇話会に提供した資料は、正職員のみ年齢構成を示したものであり、子どもと常時接する保育士の年齢が問題とされる議論の中ではアルバイト職員等も含めるべきであり、同資料をもとにして策定した同懇話会の報告書及び門真市立保育所民営化基本方針(案)を白紙撤回すべき」等の指摘を受けた。【資料(2)－8－1】
	当時の対応 ・アルバイト等を含む年齢構成等の資料については、必要性がないとし作成していなかったが、今後、あらゆる角度から分析する資料の一つとして検討していくこととした。
発生原因	・基礎資料作成時におけるデータ収集が不十分であった。
再発防止対策	・計画等を検討する際の基礎資料の作成にあたっては、あらゆる角度から分析に努めるよう徹底する。
添付書類	【資料(2)－8－1】…平成18(2006)年第4回定例会(12月)議事録(抜粋)